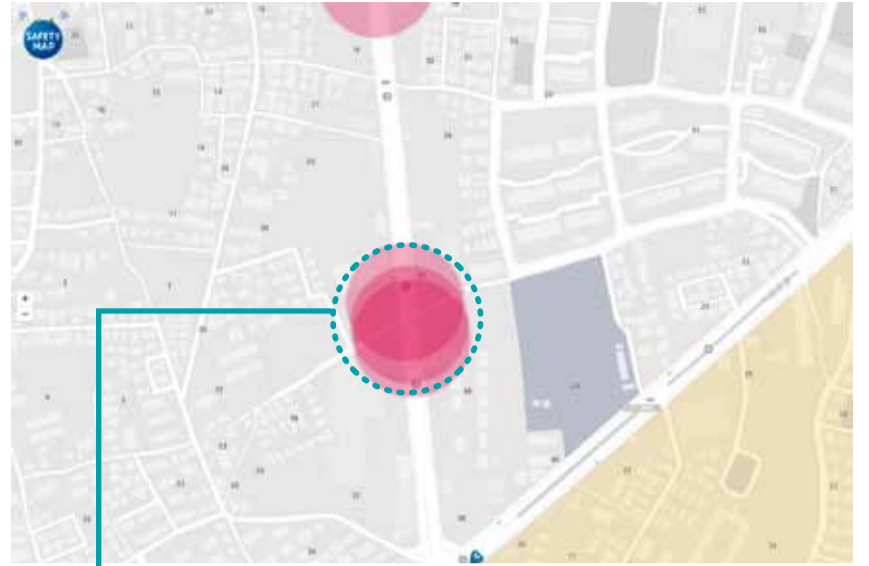


# SAFETY FOCUS

安全な道路環境をめざして - 20 神奈川県横浜市瀬谷区「橋戸 2 丁目 31」交差点

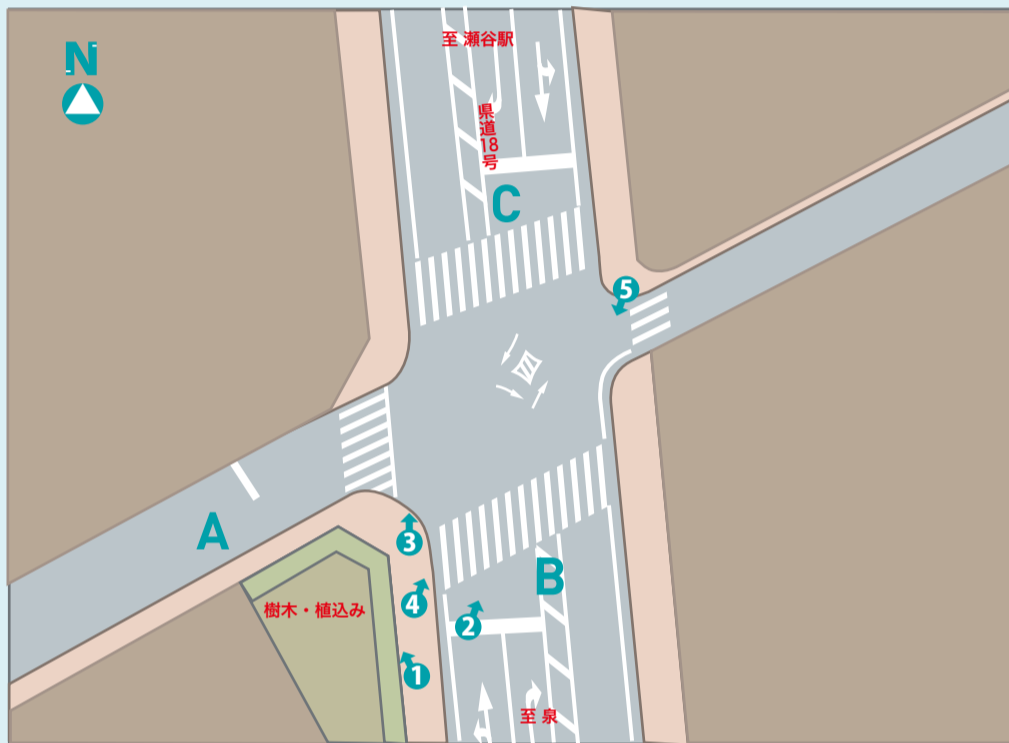
## 樹木の存在でドライバーからの見通しが悪くなっている交差点

「SAFETY FOCUS」では Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、横浜市瀬谷区で事故多発エリアと表示されている交差点。神奈川県警察本部によれば、平成 28 年中に人身事故が 6 件発生している。



### 現場をたずねる

FOCUS エリア  
横浜市瀬谷区「橋戸 2 丁目 31」交差点



1 南西側の商業施設の敷地内にある樹木と植込み



2 A から B に右折するクルマと横断歩道の歩行者



3 横断歩道に歩行者がいるにもかかわらず、その前を横切る右折車



4 渋滞中のクルマの死角からすり抜けてきた原付に気づいて急停止した右折車



5 歩行者用信号機が青点滅になった後、走って横断する小学生とその保護者

今回訪れた「橋戸 2 丁目 31」交差点は相模鉄道本線の瀬谷駅から南へ約 1km の場所にあり、南北に県道 18 号が通っている。現場を訪れたのは平日午後 3 時。

交差点の西側には商業施設の駐車場があるため、A と B、A と C を往来するクルマの数は比較的多い。特に、C から A への右折車は対向車が途切れたり、渋滞すると勢いよく曲がっていた。

南西側の商業施設の交差点に近い敷地内には高さのある樹木や植込みがある。

また、交差点の東側には小学校があるため、観察中は下校する小学生の姿も目立った。夕方になると商業施設の利用者も合わせて、多くの歩行者・自転車が、この交差点の横断歩道を利用していった。その中には信号機が青点滅、あるいは赤に変わってから急いで横断する歩行者・自転車も見られた。

#### ●この地点で発生した事故件数

四輪車対二輪車	右折直進	1 件
	左折時	1 件
四輪車対歩行者	横断時	4 件

※平成 28 年中 神奈川県警察本部提供

#### 横断歩道を利用する歩行者・自転車への配慮が必要

観察中は、C から A へ右折するクルマが横断歩道を渡ろうとする歩行者・自転車の目の前を横切るケースが散見された。ド

ライバーが右折のタイミングに集中するあまり、歩行者・自転車への意識が薄れているように思われた。ドライバーは横断歩道を利用する歩行者・自転車の存在を常に意識し、配慮することが大切である。一方、歩行者も歩行者用信号機が青点滅になったら横断は控えてほしい。また、日没時刻(午後 4 時 30 分頃)前に、ヘッドライトを点灯させていたクルマはわずかで、日没後になっても点灯していないクルマもいた。ドライバーは自分の存在を他の車両や歩行者にしっかりと認識させるためにも、薄暮時はヘッドライトを点灯させることが必要である。

#### ドライバーと歩行者の安全を確保するために

四輪車対歩行者の事故 4 件中 3 件は B 側の横断歩道で起きている。歩行者用の信号機が青点滅や赤になってから、走って横断する歩行者・自転車も多く見られたことから、横断歩道を利用する歩行者側にも信号を遵守してもらうための注意喚起が必要ではないかと思われた。また、A から B へ右折するドライバーにとっては、交差点の南西側にある樹木、県道 18 号を横断しようとする歩行者・自転車が見えづらくなっているのではないかと考えら

れる。この樹木をなくし、見通しを良くすることで、より安全になるのではないだろうか。

神奈川県警察では今後、さらなる安全対策を検討していく考えだ。



A から B に右折するドライバーは県道 18 号を渡るよう歩行者・自転車が見えづらいつかれる



「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ 検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Honda のインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちの PC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。